

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2004-91768 (P2004-91768A)
 【公開日】平成 16 年 3 月 25 日 (2004.3.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-012
 【出願番号】特願 2003-190917 (P2003-190917)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 18/80 (2006.01)
B 3 2 B 5/28 (2006.01)
B 3 2 B 25/10 (2006.01)
C 0 8 G 18/10 (2006.01)
C 0 8 G 18/66 (2006.01)
C 0 8 L 75/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/80
 B 3 2 B 5/28 Z
 B 3 2 B 25/10
 C 0 8 G 18/10
 C 0 8 G 18/66 Z
 C 0 8 L 75/04

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 14 日 (2006.6.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 5 8 】

< 任意成分 >

本発明のエラストマー形成性組成物には、本発明の効果が損なわれない範囲において、通常のエラストマー形成性組成物（ポリウレタン原料）に含有されている任意成分が含有されていてもよい。かかる任意成分としては、触媒、可塑剤、消泡剤、補強剤などを挙げることができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 9 6 】

< 比較例 4 >

実施例 1 で調製したエラストマー形成性組成物に代えて、比較例 1 で調製したエラストマー形成性組成物（ウレタン系樹脂の溶液）75 部を使用して難燃性エラストマー形成性組成物を調製し、当該エラストマー形成性組成物に繊維性基布を浸漬し、オープンによる加熱温度を 180 に変更したこと以外は実施例 3 と同様にして厚さ 0.5 mm の複合シートを製造した。

得られた複合シートは、繊維性基布を形成するフィラメントがエラストマーによって十分に被覆されず、むき出し状態であり、また、当該複合シートは柔軟性を有するものでは

なかった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0097

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0097】

< 比較例 5 >

実施例 1 で調製したエラストマー形成性組成物に代えて、比較例 2 で調製したエラストマー形成性組成物（ウレタン系樹脂の水性エマルジョン）75部を使用して難燃性のエラストマー形成性組成物を調製し、当該エラストマー形成性組成物に繊維性基布を浸漬し、120 のオーブンで10分、150 のオーブンで10分の加熱に変更したこと以外は実施例 3 と同様にして厚さ0.5mm複合シートを製造した。

得られた複合シートは、繊維性基布を形成するフィラメントがエラストマーによって十分に被覆されず、むき出し状態であり、また、当該複合シートは柔軟性を有するものではなかった。